

第5次亀岡市総合計画 スタート

～人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡～

第5次亀岡市総合計画の各章 施策分野別の基本方針と取り組み

第1章 互いを認め合う、ふれあいのまちづくり

互いを尊重し、認め合い、幸せに住み続けられる、人権と平和が根づくまちづくり／誰もが個性や能力を発揮し、共に生き、支え合い、ふれあうコミュニティづくり／市民と行政が互いに成長していく協働のまちづくり

第2章 安全で安心して暮らせるまちづくり

地域の安全をみんなで守るセーフコミュニティ活動の推進／事前防災・減災の考え方に基づく地域の強靱化と防災・消防体制の整備／市民・事業者との協働による、さまざまな安全対策の推進

第3章 子育て・福祉・健康のまちづくり

安心して子育てできる環境づくり、子どもたちが健やかに育つまちづくり／高齢者・障がいのある人の自立した生活を支える保健・医療・福祉・介護の連携強化／身近な地域で支え合う地域福祉、誰もが健康・安心・いきいきと暮らせるまちづくり／市民や地域の主体的な健康づくりの支援、医療体制の充実、感染予防・拡大防止の強化

第4章 豊かな学びと文化を育むまちづくり

子どもの心身の健康と確かな学力、たくましく生きる力、郷土愛を育む教育の推進／世界で活躍できるグローバルな人材の育成／誰もが生涯を通じて学び、個性や感性を磨き、成果を活かせる生涯学習のまちづくり／社会教育活動相互のネットワーク化とスポーツによる地域活性化／歴史文化の継承、芸術を触媒とした新たな活力と魅力を創造するまちづくり

第5章 地球にやさしい環境先進都市づくり

使い捨てプラスチックごみゼロの取り組みをきっかけとした地産地消や脱炭素のまちづくり／みんなで考え取り組む、持続可能な循環型のまちづくり／暮らしの豊かさや快適性を創造する、誰もが憩い、集える公園・緑地づくり

第6章 活力あるにぎわいのまちづくり

既存商店・企業の振興、新たな企業誘致・起業支援と雇用創出による地域経済の活性化／就労相談などの開催による、市民の安定した暮らしの支援／多様なニーズに対応した観光振興、「府立京都スタジアム」を核としたにぎわいの創出／担い手育成や優良農地の保全、「がんばる元気農業のまちづくり」／森林の適切な管理・保全、他産業との相乗効果が得られる多様な取り組みの推進

第7章 快適な生活を支えるまちづくり

広域幹線道路の整備促進、市内市街地と周辺地域を結ぶ地域幹線道路の整備／誰もが安心・快適に利用できる公共交通の充実、JR各駅周辺の快適性とにぎわいの創出／河川の適正管理、水道・下水道の改築・更新、人にやさしく、美しい、潤いのある街の創造と景観の保全・形成、市民が利用しやすい火葬場の整備／情報通信技術を効果的に活用した取り組みの推進

第8章 効率的で持続可能な行政運営

行政運営の効率化・協働化と財政運営の健全化による計画の推進／行政情報の提供・公開、事務事業などの検証と見直し、ICT活用による業務改善／中長期の視点に立った健全な財政運営の推進／行政課題に迅速に対応できる柔軟で効率的な組織づくりと職員の意識改革・人材育成／近隣市町との連携による効率的な広域行政の推進

亀岡市は昨年、全国初となるプラスチック製レジ袋提供禁止条例を制定し、「世界に誇れる環境先進都市」の実現に向けた施策を進め、また、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されるなど、新たな時代のまちづくりに向け、他の自治体に先駆けたチャレンジを続けています。そして、平成23年を初年とする「第4次亀岡市総合計画」夢ビジョン」の成果を次なる展開につなげ、この先も輝かしい未来を実現するための指針として、令和3年4月から「第5次亀岡市総合計画」がスタートしました。この計画は、あらゆる施策や取り組みの基礎となる最上位計画で、ともに10年を期間とする「基本構想」と「基本計画」で構成さ

れています。また、誰もが住み続けたいと思える持続可能なまちづくりに向け、目指す都市像「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」を掲げています。

基本構想は、まちを取り巻く社会・経済の大きな流れやポストコロナの時代を展望しながら、市民や各種団体、NPO、事業者などあらゆる主体が共有するまちの将来像を示し、その実現を目指すものとなっています。5つの重点テーマ①「子育てしたい、住み続けたいまちへ」、②「スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」、③「世界に誇れる環境先進都市へ」、④「だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生

のまちへ」、⑤「次代をリードする新産業を創出するまちへ」など、今後の施策の基本的な方向性を示しています。

また、基本計画は具体的な施策を示す8つの章から構成されます。今回はその概略を左に紹介しています。これらの施策と2015年9月の国連サミットで採択された国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）で示される17のゴールとを関連づけ取り組むこととしており、「SDGs未来都市」として、人に選ばれるまちを目指し、良好な暮らし、安全・安心、定住・交流など、まちづくりのあらゆる分野で次の時代をリードするまちとして、市民の皆さんとともに輝かしい未来を切り拓いてまいります。

より豊かなまちづくりのために

「コミュニティ助成事業」

亀岡市では、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、親子歴史教室の開催や防犯灯の設置を行いました。



ゲーム感覚で楽しむ動物探し

同事業は、宝くじの収益金をもとに、安全な地域づくりへの支援やコミュニティ活動の充実を図ることにより、地域の健全な発展と住民福祉の向上を目指すものです。文化資料館で実施した親子歴史教室は、史料に描かれた動物探しや昔の道具体験など



防犯灯整備

の全5回が開かれ、ふるさと亀岡の歴史と文化を楽しみながら学ぶ機会となりました。LED防犯灯は、旭町の一般国道477号沿いに12基設置し、夜間通行する際の安全性の向上、事故や犯罪の防止につながっています。



あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。

クーちゃん

やさしい健康講座

第153回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。

亀岡市立病院
整形外科 山崎 哲朗
専門分野 外傷、手外科

手の指の引っかけや痛み、動かしにくさ(ばね指)

最近、手指の曲げ伸ばしがしにくい。手を握ったら指が伸びなくなってしまう、伸ばそうとしたらコキンという感じで伸びるけれども痛みがある。そんな症状はありませんか。それは「ばね指」かもしれません。

ばね指は指を曲げるための腱(屈筋腱)が炎症により太くなつて、指の付け根の関節の部分で引っかけってしまう病

気です。腱が引っかけること

で前述のような症状が出てきます。朝に症状が強いという特徴もあります。

更年期や妊娠出産期の女性に多いほか、手指をよく使う仕事や趣味の人、糖尿病やリウマチにかかっている人、透析をされている人に多いといわれています。

治療法としては、まずは腱の炎症を引かせるために手指を安静に。ストレッチや器具の使用も効果があるとされています。症状が強い場合には炎症を止める薬を注射します。炎症が引いて腱が細くなれば、症状は改善していきます。

注射でも症状が改善しない場合には、手術を行うこともあります(腱鞘切開手術)。

このような症状にお悩みの人は、一度整形外科でご相談されてはいかがでしょうか。